

愛ちゃん と 希望くん



©中央共済基金

やわたはま

# 社協だより

# 75

平成30年8月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

第1回

## ふれあい・いきいきサロン お世話人研修会



介護予防は自分のため♪

6月19日(火)・20日(水)・21日(木)の3日間にわたり、「ふれあい・いきいきサロン 第1回お世話人研修会」を開催しました。

この研修会は、市内に66あるふれあい・いきいきサロンの運営に取り組んでいるお世話人を対象としており、研修会で学んだことをサロンへ持ち帰り、いきいきと活動を続けていただくことを目的としています。3日間で合計147名のお世話人及び地区社会福祉協議会会長が参加しました。

まずは、「ほつらっ介護予防体操 上半身編・下半身編」を実践。今年度完成したDVDを映しながら、はつらっ介護予防体操すすめ隊の方と一緒に体操をしました。その後、認知症ケア専門士を講師にお招きし、認知症についての講話で理解を深めたり、各グループに分かれてサロンについての話し合いを行ったりしながら、これからのサロン活動について考える機会となりました。

以下、八幡浜市社会福祉協議会を「市社協」、地区社会福祉協議会を「地区社協」、八幡浜市ボランティア協議会を「ボラ協」と表記します。

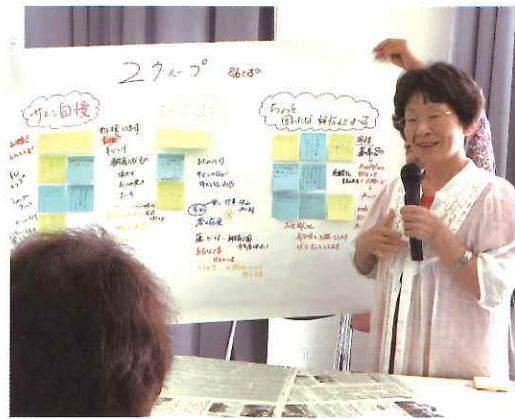
第1回ふれあい・いきいきサロンお世話人研修会  
 愛着のある地域で、  
 心身の変化にも寄り添いながら

認知症についての講話では、認知症ケア専門士の岡本詠子氏、池井恭久氏、梶田イチ子氏に講師をお願いしました。認知症の基礎知識や、講師の体験を交えたお話から、認知症状のある方への接し方や地域での支え合いの大切さを学びました。

グループワークでは、サロンの良いところや活動内容、悩みについて意見を出し合いました。高齢化や後継者に



他サロンの取り組みに興味津々



グループワークの発表をするお世話人さん

ついでに悩みもありましたが、「自分たちだけが悩んでいるわけではない」ということを共有することが出来ました。また、サロンの取り組みについては、お互いの活動内容を参考にして、「交流会をしましょう」「その活動はうちでもやってみよう」という嬉しい声も聞こえました。

その他参加者からは、「他のサロンのお世話人と話す機会ができて良かった」「サロンが居心地の良い場所であると良い」「これからも皆の笑顔をたくさん見られるサロンにしたい」という感想がありました。

## ふれあいサロンご紹介

### ふれあい子育てサロン



#### ハッピー（宮内地区）

宮内地区では、多くの参加登録をいただいていることもあり、年齢別に開催することがあります。この日は生後1歳3ヶ月までの子と親及び兄弟参加の『プチ・ハッピー』。ミュージックケアや美味しいゼリーを皆で食べて、楽しく過ごしました。

### ふれあい・いきいきサロン



#### ゆとりの里／朝日の里（日土地区）

毎年2サロンで交流会を行っています。100歳のメンバーも参加され、シャッフルゴルフやミュージックケアと一緒に楽しみました。「また、元気に会おうや」と次回の交流の約束を交わしました。

# アクティブボランティア養成講座を 通して、喜須来地区のことを考える

市社協では、地域の支え合いの担い  
手育成のために、「アクティブボラン

ティア養成講座」を開催しています。  
各地域に向き、身近な課題や地域住  
民に出来ることについて考える機会と  
なっています。

喜須来地区では、喜須来地区公民館  
にて3回講座を開講し、地区社協役員  
や区・公民館関係者、老人会、ボラン  
ティア、一般の方等、36名が参加し  
ました。

## 安心して暮らし続ける ために

地域の方と、どんな講話内容にする  
か話し合った上で、内容に合った専門  
家を招き理解を深めました。介護や認  
知症を縁遠いものではなく、自分や家  
族、近所の方のこととして考えながら、  
健康であり続けるために気を付けたい  
ことや、困った時の相談先などを確認  
しました。

「介護保険制度に無関心だったが、  
知れて良かった」「身近な家族の変化  
についていけるのか、不安なことはあ  
る」「自分自身も、人に対する尊敬・  
敬意を失わない人間でありたい」など  
の意見が聞かれました。



「近所付き合いや交流を大切にしたい！」

## 地域の力を考える

地区別グループワークでは、自分た  
ちの地域にあるもの、ないものを出し  
合い、既にあるものを活かし、ないも  
のを補うために、「何ができるか」「ど  
んな地域になれば良いか」を話し合い  
ました。

自然豊かで人情がある、元気な高齢  
者・女性のパワーがあるなどの利点を  
活かした地域づくりに向けて、話に花  
が咲きました。「近所にもっと集う機  
会や場所があれば良いな」「公園の活  
用やコミュニティ菜園での生きがいづ



修了証書授与式

くり！それを通して小遣い稼ぎにつな  
がれば良いな」など、様々なひらめき  
や想いが言葉になりながら、前向きに  
一步を踏み出そうとしています。  
話し合いをする中で、自分たちが長  
年暮らしてきた地域の良いところを再  
発見でき、「生きがいとなる活動に取  
り組める人でありたい」と、地域への  
思いを新たに、講座を修了しました。  
喜須来地区を支える、力強いリーダー  
(担い手) が生まれました。今後は、  
地域の困り事の解決に向けて、一緒に  
考え実践する仲間として活躍していき  
ます。  
次は、川上地区でアクティブボラン  
ティア養成講座を行います。10月に  
は、公開講座を予定しています。関心  
のある方は、市社協(☎23・294  
0)まで、お問合せください。

## 中学生職場体験 中学生と入居者・スタッフが 笑顔で過ごした1週間

7月2日(月)～6日(金)の5日間、養護老人ホーム『湯島の里(五反田)』にて中学生の職場体験を受け入れました。

八代中学校2年生の梶原那生(かじわら・なお)さんと二宮陽葵(にのみや・ひなた)さんは、小学生の時に有料老人ホームで高齢者とふれあう機会があり、また高齢者とお話したいと感じていました。普段、高齢者と出会って一緒に過ごす機会が少ないことや、福祉の仕事に興味と憧れがあることから、『湯島の里』を職場体験先として選びました。

職場体験の内容は、入居者と会話をし共に過ごす、七夕などの行事にお手伝いしながら参加する、介護福祉士・介護支援専門員・看護師など様々な職種を理解するなど、充実しています。入居者から積極的に話しかけてくれたり、自身の人生を語ってくれたりするため、緊張はすぐに解け、入居者の心づかいに感動したそうです。介護福祉士からは、コミュニケーションで配慮する点(笑顔で・ゆっくりと・ハキハキした声で接する)を教えてもらったことが印象的だったそうです。

お二人には実習中の目標がありました



看護師業務を体験「血圧高めですね」

た。梶原さん「入居者の方といろんなコミュニケーションを用いて、積極的に接したい」、二宮さん「自分自身の感情を意識しながら、笑顔で入居者の方とお話したいです」。目標達成に向けて、笑顔で励んでいました。

『湯島の里』今村施設長よりコメント  
「入居者がお二人のことを気にかけ、明るい雰囲気になりました。この職場体験をきっかけに、将来、福祉や介護を志し担ってくれる人材になることを願っています」

## 「事例を通して権利擁護と 成年後見制度を理解する」研修会

八幡浜市権利擁護センターでは、介護保険サービス事業所などに出向き、出張研修会を開催しています。

6月16日(土) 13時30分から「たけしケアプラザセンター」・ようなるデイ(大平)の職員を対象に研修会を開催し、管理者をはじめ、介護職員、支援相談員、介護支援専門員など10名が参加しました。

研修会のテーマは、権利擁護の視点を踏まえた成年後見制度(以下、「後見制度」と後見実務の理解です。後見制度は、認知症や障がいなどによって判断能力が低下した方へ、後見人が財産管理や適切な契約などを行う制度です。利用者は全国的に年々増加傾向にあり、ますます注目が高まっています。

研修会では、実際にデイサービスを利用している方を事例として取り上げ、後見制度を利用する以前の暮らし、利用に至る背景、利用してからの暮らしについて理解すると共に、後見人の実務についてポイントを押さえながら学びました。そして、当事者が安心して暮らせるように、当たり前に持っている権利を最大限に行使できる環境調整や、自己決定を尊重することの大切さを学びました。



出席した職員からは、「具体例があった分かなりやすく、後見人の仕事内容が良く分かった」「権利擁護の視点を再確認することができた」などの意見をいただきました。

出張研修会の依頼・相談は、市社協八幡浜市権利擁護センター(☎23-2940)まで、お問合せください。

# 点訳・朗読のことを 見て・知って・体験する！ 学びのバスツアー

6月13日(水)、点訳・朗読のボランティアに関心のある方を対象に、愛媛県視覚福祉センターへ見学・体験に行く「学びのバスツアー」を開催しました。

最初に、点訳図書製作場、音声訳の編集の様子、書庫など施設内を見学しました。現在は点字図書の増刷技術が発達していますが、昔は全て手作業だったため、全国に1冊しかない貴重な図書がいくつも存在します。そのため、全国の点字図書館が繋がり、その1冊の本を貸し借りしていることを知り、感動しました。また、目の不自由な方も出来るだけリアルタイムで情報を得られるように心がけており、迅速な対応とその活動の大切さを学びました。

次に、点字名刺作りや朗読の録音を体験しました。点字は裏面から文字を打つため、反転して逆から書き始める、作業が細かい、という点から、「脳トレにも良い」という感想が聞こえました。朗読では、録音した自分の音声を聞き、真剣に確認する姿が見られました。



貯蔵されている点字図書を確認する参加者

体験を通して、「これなら私にもできる。やってみようかな」と、市社協が主催する点訳、音声訳それぞれのボランティア養成講座への申し込みがあり、このツアーがボランティア活動への入口となりました。

ボランティア養成講座に関するお問い合わせは、市社協(☎23・2940)までお問合せください。

# 地区社会福祉協議会 会長会

7月4日(水)10時~12時、八幡浜市保健福祉総合センターにて、地区社会福祉協議会が行われました。

地区社協は、地域の福祉課題に対し、住民が主体的に取り組むための中心的な役割を持つ組織です。市内15地区に分かれて、それぞれ特色のある取り組みを行っています。この会議は年に2回開催しており、今回は、各地区の取り組みについて情報交換をしました。

地区社協では、「給食サービス」「一人暮らし老人のつどい」「三世代ふれあいのつどい」「広報誌作成」「地域福祉普及向上」など、地域内での交流や情報発信となる活動を、地域の中で協議しながら行っています。これらの活動は、赤い羽根共同募金や社協会費が主な財源となっています。

会議では、その他各地区独自の活動についても報告がありました。喜須来では、毎週火曜日に公民館を利用して誰でも気軽に集える「いきいき喫茶」を開いています。大島では、「大島おたすけ隊」を発足し、ボランティアによる困り事解決に向けた取り組みが始まっています。

どの地区社協も、公民館や区、各種サロン、ボランティア団体などの様々

な機関・団体と協力をし合いながら、地域を盛り立てる活動の充実・発展を考えられています。今後も、人と人とのふれあいを大切に、地域を元気にする取り組み、孤立させない地域づくりを目指していくことを共有しました。



各地区社協の会長が一堂に会して協議

# 平成29年度 八幡浜市 社会福祉協議会 事業報告

## 事業の実施状況

### A 法人経営の基盤整備の推進

- 理事会等各種会議の開催
- 八幡浜市社会福祉大会の開催
- 地区社会福祉協議会会長会の開催及び各種研修会の開催
- 地区社会福祉協議会の組織の充実と活動支援
- 社会福祉協議会の情報活動の促進
- 自主財源の確保と適正な運営
- 財務の適正化と事務の合理化
- 役職員の研修・資質の向上

### B 地域福祉活動の推進

地域福祉の推進と在宅福祉サービス向上のために、関係機関、各種福祉団体等の協力を得ながら、多岐にわたる福祉活動を本所・支所・事業所との連絡を密にし、それぞれの役割分担を明確にした上で様々な事業に積極的に取り組みました。

- 小地域ネットワーク活動の推進
  - ◆ ふれあい・いきいきサロン事業
  - ◆ ふれあい子育てサロン事業
  - ◆ 独居高齢者等見守りネットワーク事業
- 高齢者等福祉対策の推進
  - ◆ 給食サービス事業
  - ◆ 一人暮らし老人の集い事業
  - ◆ 三世代ふれあいの集い事業
- 地域福祉普及向上事業
  - ◆ 農福連携事業の実施
- 第15回四国地域福祉実践セミナー in 八幡浜市の開催
- 八幡浜市ボランティア協議会の活動促進・支援
  - ◆ ボランティア養成講座の開催
  - ◆ 手話奉仕員
  - ◆ 朗読(音声訳)ボランティア(初

### 級・中級)

- ◆ 点訳ボランティア(初級)
- 第30回福祉のつどいの開催
- ボランティアグループ育成援助
- ボランティア活動保険等の加入
- ヤングボランティアの育成・啓発
- ◆ ボランティア・ワークキャンプ
- ◆ 福祉教育体験学習
- ◆ 盲導犬教室
- 赤い羽根共同募金チャリティペーパーティーの開催
- 母子・寡婦・父子福祉推進活動
- 心身障害者(児)福祉事業推進
- ◆ 障害者社会参加促進事業
- 生活支援体制整備事業の実施
  - ◆ 生活支援コーディネーター及び地域支え合い協議体事業
  - ◆ 地域支え合い協議体(第一層協議体・第二層協議体(千丈地区・喜須来地区))の設置・運営
  - ◆ 新たな担い手の養成「アクティブボランティア養成講座」(日土地区・双岩地区)
- ◆ 地域資源の把握、支援ニーズの把握
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
  - ◆ 通所型サービスA事業(健康クラブ・若草デイサービス)

### C 権利擁護の推進

- 八幡浜市権利擁護センター事業の実施
  - ◆ 研修会・会議(虐待防止セミナー)
  - ◆ 市民後見人養成講座(勉強会)
  - ◆ 市民後見事業の実施
  - ◆ 法人後見事業検討委員会
  - ◆ 法人後見受任
- 福祉サービス利用援助事業の実施
- 生活支援・相談活動の充実
  - ◆ 小口資金貸付事業
  - ◆ 生活福祉資金貸付事業
  - ◆ 心配ごと相談所事業
- 八幡浜市生活困窮者自立支援事業の実施
  - ◆ 主任相談支援員・相談支援員・就労支援員設置
  - ◆ 支援調整会議
  - ◆ 研修会(ワークショップ、事例検討会)
  - ◆ ネットワーク構築に向けた取り組み(農福連携の研究・協議、食糧支援に関する連携)





福祉教育「保内中学校生とふれあい・いきいきサロンの交流」

- D 在宅福祉サービスの推進**
- 介護保険事業の推進
  - ◆ 居宅介護支援事業
  - ◆ 介護予防ケアマネジメント事業
  - ◆ 訪問介護事業
  - ◆ 訪問入浴介護事業（6月末日廃止）
  - ◆ 通所介護事業
  - ◆ 短期入所生活介護事業
  - 障害福祉サービス事業
  - ◆ 居宅介護事業
  - ◆ 同行援護事業
  - 介護保険外・障害福祉事業の推進
  - ◆ 生活管理指導員派遣事業
  - ◆ 障害者訪問入浴事業（6月末日廃止）
  - 福祉用具貸出事業



あけぼの荘  
ボラ協メンバーと共に施設近辺の清掃

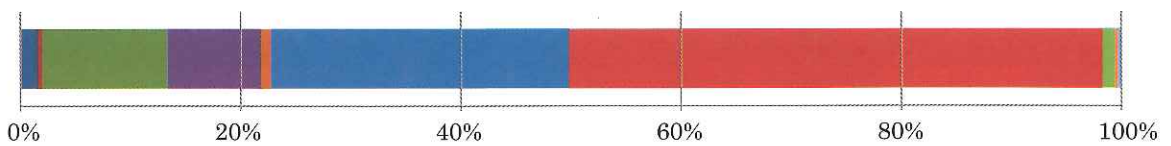


保内デイサービスセンター  
レクリエーション

- E 施設サービス部門**
- 養護老人ホームの管理・経営
  - ◆ 養護老人ホーム湯島の里
  - ◆ 養護老人ホームあけぼの荘

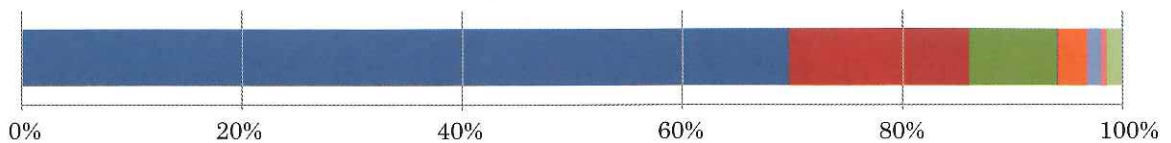
## 平成 29 年度 八幡浜市社会福祉協議会 決算報告

### 収入



収入合計  
418,715,300円

### 支出



支出合計  
442,364,694円

# 平成30年7月 西日本豪雨災害 に際して

平成30年7月はじめから降り続いた豪雨により、西日本各地、そして愛媛県内にも各地で大きな被害がありました。八幡浜市においても、土砂災害や床上・床下浸水等による被害が多数出ています。

被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

## 八幡浜市内の被災者 への義援金

■窓口／八幡浜市役所

## 愛媛県内各地の被災者 への義援金

■義援金の名称／  
「愛媛県豪雨災害義援金」

■募集期間／  
平成30年7月11日（水）  
～平成30年9月28日（金）

■配分対象市町／  
災害救助法適用市町  
（今治市、宇和島市、大洲市、  
西予市、松野町、鬼北町）

■受付窓口／  
八幡浜市社会福祉協議会

# 八幡浜市ボランティア協議会 30周年記念イベント

日時 平成30年9月9日（日） 14:00～16:30

場所 道の駅みなとオアシス 八幡浜みなと

内容 皆さまと一緒に楽しめる企画を検討中！



八幡浜市ボランティア協議会 会長 猪石 <sup>つよし</sup> 壮 氏 より

ボランティア協議会が30歳を迎えます。ボランティア事業が発足のきっかけとなり、たくさんのボランティアグループやサークル、各種団体の方々に支えられ、「福祉のつどい」「障害者スポーツ大会」「市内清掃」など様々な活動を行いながら、今に至っています。

この度、ボランティアや市民の皆様へ、感謝とご紹介を兼ねて、記念イベントを開催します。ご来場いただいた皆様には、ボランティアを身近に体験していただけるようなイベントを計画しておりますので、ぜひお越しください！